

ぱんだぐみ

ぎゅぎゅぎゅ おだんごで一きた

R6,4,15

赤土に水を入れ、泥をつくと、「やりたーい」と集まってきたぱんだぐみさん。保育者等が団子をつくる姿を見て真似していました。

泥の性質や仕組みに興味や関心をもつ

保育者の真似をして、ぎゅぎゅとにぎっています。初めは団子にすることが難しい子も、つくっていく中で、手の平や指先に入れる力を調節して、団子にしていました。また、泥の感触を味わっていく中で、泥の性質（水と土を混ぜると固めやすくなる）に気付いていきます。



団子、たくさん



泥団子に興味をもっていても、泥に触ることが苦手な子は、友達や保育者等が作った泥団子を見たり、匂いを嗅いだりしています。一人一人のペースに合わせて、遊びを楽しんでいきたいと思います。



イメージを豊かにする

つくった泥団子に、草花をのせて、おもちに見立てています。また、友達の真似をして、自分で草花を探してきて団子に草花をのせています。保育者等が、園児の考え（おもち）を言葉にすることで、周りの友達のイメージが広がっていきます。

上手くできない

ぬるぬるする



泥を、丸めたり崩したりして、泥の感触を味わっています。また、泥の感触を、保育者等や友達に伝えています。

ぱらぱら



草のせよーっと

